

ホースアセンブリ方法

キャンパカ継手

アセンブリ方法

1 準備



使用条件に適したホース、継手、ホースカッター、白ペン、トルクレンチ、シールテープ、取り外し治具を用意します。

注意 キャンパカは落下させるとニップル部が飛び出し、ホース挿入が出来なくなる場合があります。取り扱いに注意してください。

2 キャンパカ継手の機器への取付



CAタイプの場合
テーパねじ部にシールテープを巻き、機器のテーパめねじ部に、規定トルクで接続してください。

CEタイプの場合
アダプタを機器に取り付け、キャンパカをアダプタと規定トルクで接続してください。

●推奨締付トルク (N・m)

ねじサイズ	専用テーパねじ Rネジ	専用平行ねじ Gネジ
1/8	10~15	15
1/4	25~30	25
3/8	45~50	34
1/2	60~70	59

- 注意** 規定トルク以上で締め付けた場合は、継手破損の原因となります。
- 注意** キャンパカ継手は、ホース端部をソケットの内周溝に合わせてマークし、挿入確認を行ってください。
- 注意** キャンパカ継手は、指定するホース以外には使用できません。

ホース品番	ホースクランプ位置
3130-02、F3130-02	200mm以上
1000-04、1400-04、F3130-04	350mm以上
1000-06、1400-06、F3130-06	400mm以上
1000-08、F3130-08	500mm以上

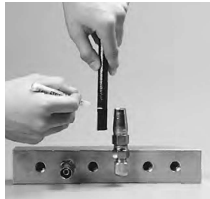
3 ホースのカット



切り口が直角になるように専用ホースカッターを使用して切断します。

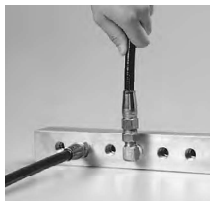
- 警告** カッターの刃物部には触れないでください。
- 注意** 切り口が斜めになっている場合は、ホース抜けや漏れの原因となります。
- 注意** 刃物の切れ味が悪くなると切断面が傾斜になり、ホース挿入時にニップルのリングが外れ、漏れの原因となりますので、カッターを交換してください。

4 ホース挿入長さのマーク



図のように、ホース端部を継手ソケットの内周溝に合わせて、白ペンを使ってホースにマークします。

5 キャンパカ継手へホースの挿入



継手にマーク位置まで、まっすぐにホースを挿入します。ホースの他端側も2~5の要領で作業を行ってください。

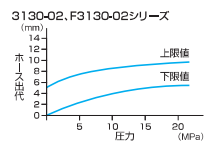
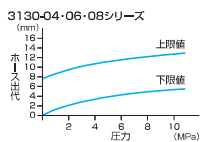
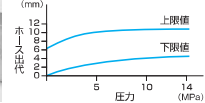
- 警告** 指定された長さに正しく挿入されていない場合は、ホース抜けや漏れの原因となります。
- 注意** ホースを斜めに挿入すると中の部品(クリップバー)が変形し挿入できなくなる場合があります。

6 ホースアセンブリ完了確認



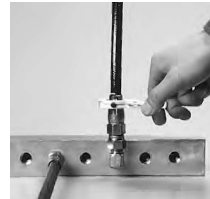
加圧することにより、圧力に応じた適切なホースの過締めが行われます。

●加圧によるホース移動量 (1000、1400シリーズ)



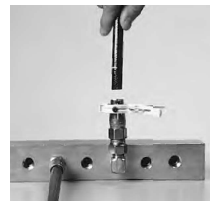
- 注意** 加圧するとホースが移動し、配管長さが長くなるので、機器との干渉、ホースの折れがないか確認してください。

7 ホースの取り外し①



取り外し方法
(加圧前に限り取り外し可能)
取り外し治具の先端突起部(2カ所)を継手ソケット側面の穴に差し込みます。

8 ホースの取り外し②



1度ホースを継手に押し込んだ後、ゆっくりとホースを引き抜きます。

- 注意** 加圧後はホースを取り外すことはできません。無理に取り外すと、ホースおよび継手内部部品が破損し、ホース抜け、漏れの原因となります。
- 注意** 加圧後のホースおよび継手の再使用はできません。

※加圧前にホースを引張らないでください。